



資料

第 3 回 豊岡市公営企業審議会

豊岡市上下水道部
2021年6月7日

審議会委員名簿（2021.6.7現在）

（敬称略）

職名	氏名	所属	区分
会長	山口隆英	兵庫県立大学国際商経学部長	学識経験者
副会長	坂本昇造	豊岡商工会議所副会頭	市民
委員	井垣真紀	—	市民
委員	作花尚久	税理士	市民
委員	都築洋一郎	兵庫県立大学国際商経学部准教授	学識経験者
委員	長坂和枝	竹野消費者の会	市民
委員	長田徹	税理士	市民
委員	勾田勝久	公益事業者（豊岡エネルギー(株)代表取締役社長）	市民
委員	宮下えりか	—	市民
委員	米田英昭	豊岡市区長連合会会長	市民

任期：2020.6.1～2022.5.31

1	収支見通し（下水道事業）	…	3
2	収支見通し（水道事業）	…	7
3	審議の流れ	…	15
4	総括原価の算定	…	17
5	次回の審議内容	…	31
6	今後の予定	…	34



1 収支見通し（下水道事業）

下水道事業会計 収支見通し (2021年5月版)

		H31 R01	H32 R02	H33 R03	H34 R04	H35 R05	H36 R06	H37 R07	H38 R08	H39 R09	H40 R10	H41 R11	H42 R12	H43 R13	H44 R14	H45 R15	H46 R16	
		決算	決算速報値															
収益の収支 (百万円、 税抜)		2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	
収益の収支	収入 (収益)	5,688	5,578	5,448	5,457	5,434	5,443	5,404	5,402	5,211	5,152	5,157	4,809	4,613	4,314	4,111	4,032	
	下水道使用料	1,580	1,544	1,507	1,487	1,467	1,446	1,425	1,405	1,385	1,365	1,346	1,326	1,306	1,286	1,266	1,247	
	一般会計繰入金等	2,656	2,595	2,515	2,561	2,561	2,613	2,629	2,645	2,492	2,428	2,425	2,065	1,858	1,541	1,315	1,217	
	長期前受金戻入	1,423	1,414	1,402	1,385	1,384	1,361	1,326	1,329	1,311	1,336	1,362	1,395	1,427	1,464	1,506	1,545	
	その他	31	25	24	24	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	
	支出 (費用)	4,981	4,868	4,832	4,784	4,719	4,601	4,440	4,397	4,397	4,399	4,450	4,514	4,575	4,655	4,729	4,842	4,930
	維持管理費等	1,026	1,015	1,061	1,055	1,066	1,034	968	958	968	958	968	968	958	968	958	968	958
	うち、非現金支出分	35	62	54	70	70	70	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
	減価償却費	3,231	3,198	3,180	3,199	3,184	3,154	3,112	3,113	3,119	3,182	3,236	3,305	3,372	3,450	3,537	3,617	
	支払利息	723	655	590	530	469	413	360	326	312	311	310	312	315	322	338	356	
単年度損益	708	710	617	673	715	842	964	1,006	812	702	643	234	△ 42	△ 415	△ 731	△ 897		
累積損益 (利益処分後)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	621	1,264	1,498	1,456	1,042	310	△ 587		

資本的収支 (百万円、 税込)		2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	
資本的収支	収入	3,042	3,646	4,911	3,481	3,687	3,499	3,521	3,211	3,223	2,817	2,756	2,337	2,321	2,571	2,495	2,314	
	企業債	2,150	2,519	3,125	2,392	2,456	2,321	2,324	2,076	1,976	1,636	1,490	1,184	1,170	1,288	1,247	1,153	
	一般会計繰入金等	0	1	23	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	国庫補助金	876	1,115	1,763	1,085	1,230	1,177	1,195	1,134	1,246	1,180	1,265	1,152	1,151	1,282	1,247	1,160	
	その他	15	11	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	支出	5,307	5,953	7,258	5,886	6,165	6,069	6,132	5,886	5,997	5,997	5,670	5,642	5,020	4,709	4,548	4,194	3,840
	建設改良費	1,817	2,385	3,603	2,190	2,457	2,341	2,362	2,257	2,482	2,349	2,519	2,308	2,315	2,553	2,484	2,310	
	企業債償還金	3,490	3,568	3,655	3,696	3,708	3,727	3,770	3,629	3,516	3,321	3,124	2,712	2,394	1,995	1,710	1,530	
	収支過不足額	△ 2,265	△ 2,306	△ 2,346	△ 2,404	△ 2,478	△ 2,570	△ 2,612	△ 2,675	△ 2,774	△ 2,853	△ 2,887	△ 2,683	△ 2,388	△ 1,977	△ 1,699	△ 1,526	

補てん 財源	使用額	2,265	2,306	2,346	2,404	2,478	2,570	2,612	2,675	2,774	2,853	2,887	2,683	2,388	1,977	1,699	1,526
	翌年度繰越額	939	1,299	1,562	1,810	2,024	2,261	2,512	2,735	2,699	2,507	2,256	1,828	1,456	1,172	891	649
企業債残高		44,829	43,796	43,280	41,988	40,745	39,347	37,908	36,359	34,823	33,142	31,510	29,983	28,760	28,053	27,590	27,213
現金預金残高		2,020	2,674	2,837	3,341	3,636	3,670	3,942	4,124	4,268	4,001	3,806	3,308	2,955	2,781	2,477	2,172

※端数処理のため、各計の額が異なる場合がある。



下水道事業会計 収支見通し（2021年5月版）

1 経営戦略（財政計画）と収支見通しとの比較分析

(1) 維持管理費の減少

2016～2020：約5億800万円の減少（1億160万円/年）

2022～2026：約1億7,200万円の減少見込み（3,440万円/年）

(2) 支払利息の利率見直し

2016～2020：約4億7,200万円の減少（9,440万円/年）

財政計画は利率2.5%で試算→2020年：0.2%～0.32%

2022～2026：約18億3,100万円の減少見込み（3億6,620万円/年）

利率0.4%～1.896%で試算（内閣府「中長期の経済財政に関する試算」）

(3) 建設改良費の平準化

国庫補助の状況を考慮しながら事業量の平準化を図る。

(4) 企業債の借入れの見直し

資本費平準化債の活用で資金を確保し、補填財源不足の抑制を図る。

下水道事業会計 収支見通し（2021年5月版）

2 今後の検討課題

(1) 有収水量減少に対する取組み

2020年度の有収率（有収水量÷総処理水量）が対前年度比4.8%減（83.74%）

総処理水量：4.3%増 **有収水量：1.3%減**

→ 未接続世帯・施設の解消のため更なる取組みが必要。（2020水洗化率：94.63%）

年度	2016	2017	2018	2019	2020
有収率（%）	87.05	85.67	85.55	88.54	83.74
有収率 対前年比増減（%）	△0.34	△1.38	△0.12	2.99	△4.80
有収水量 対前年比増減（%）	0.27	△1.47	△1.13	△1.46	△1.33

(2) 多額の企業債残高への対応

2020年度末時点の企業債残高が437億9,630万円（経営戦略比11億7,429万円減）

→ 今回料金算定期間（2022～2026）では、十分な利益が発生するものの、企業債償還のための利益処分（減債積立金）が必要。

(3) 次期料金算定期間（2027～2031）での使用料改定の検討

2031年度以降、収益的収支で損失が発生する見込み（**2031：4,150万6千円の赤字**）

→ 今回料金算定期間での実績を踏まえ、2031年度以降の収支の状況も考慮した上で次期料金算定期間の使用料改定の検討が必要。



2 収支見通し（水道事業）

水道事業会計 収支見通し (2021年5月版)

(料金改定なし・資産維持費なし)

		H31 R01	H32 R02	H33 R03	H34 R04	H35 R05	H36 R06	H37 R07	H38 R08	H39 R09	H40 R10	H41 R11	H42 R12	H43 R13	H44 R14	H45 R15	H46 R16	
		決算	決算速報値															
収益的収支(百万円、税抜)		2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	
収益的 収支	項目/年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	
	収入(収益)	2,275	2,170	2,190	2,148	2,128	2,106	2,071	2,048	2,017	1,988	1,960	1,910	1,867	1,815	1,777	1,749	
	料金収入	1,606	1,543	1,572	1,557	1,543	1,529	1,515	1,501	1,487	1,473	1,459	1,445	1,431	1,416	1,401	1,387	
	一般会計繰入金等	273	255	255	243	240	234	220	215	206	196	185	155	135	103	90	85	
	長期前受金	294	280	265	259	257	255	248	244	238	234	230	224	216	210	200	193	
	その他	102	93	99	88	88	88	88	88	85	85	85	85	85	85	85	85	
	支出(費用)	2,014	1,967	1,988	2,006	2,037	2,126	1,979	1,924	1,855	1,853	1,829	1,826	1,813	1,856	1,805	1,816	
	維持管理費	614	606	674	712	754	844	702	635	664	634	624	635	621	677	622	644	
	うち非現金支出分	20	8	49	22	147	126	64	18	58	18	19	21	17	63	19	31	
	減価償却費	1,187	1,166	1,136	1,133	1,138	1,153	1,161	1,183	1,093	1,125	1,117	1,104	1,106	1,096	1,100	1,091	
支払利息	212	195	177	161	144	129	116	106	98	94	89	86	86	84	84	81		
単年度損益	261	204	203	142	92	△ 20	92	124	162	134	130	84	54	△ 42	△ 28	△ 67		
累積損益(利益処分後)	1,432	1,340	1,542	1,683	1,775	1,755	1,542	1,239	885	680	479	239	123	0	△ 28	△ 95		
									2022-2026 損益計			2027-2031 損益計						
									430			564						
資本的収支(百万円、税込)		2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	
資本的 収支	収入	378	393	1,180	570	951	1,004	863	507	559	383	437	537	434	550	441	409	
	企業債	283	296	1,047	401	610	590	771	427	475	297	348	448	339	446	331	293	
	一般会計繰入金等	90	92	112	119	208	243	78	80	84	86	89	89	95	104	110	116	
	国県補助金	5	5	20	49	133	171	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	支出	1,387	1,423	2,463	1,956	2,599	2,624	2,660	1,966	2,071	1,680	1,732	1,838	1,567	1,753	1,530	1,460	
	建設改良費	561	530	1,526	979	1,570	1,595	1,632	936	1,029	673	769	968	753	964	744	666	
企業債償還金	826	893	937	976	1,029	1,029	1,028	1,030	1,042	1,008	963	869	814	789	786	795		
収支過不足額	△ 1,009	△ 1,030	△ 1,283	△ 1,386	△ 1,648	△ 1,620	△ 1,797	△ 1,459	△ 1,512	△ 1,298	△ 1,295	△ 1,301	△ 1,133	△ 1,203	△ 1,089	△ 1,051		
補てん 財源	使用額	1,009	1,030	1,283	1,386	1,648	1,620	1,797	1,459	1,512	1,298	1,295	1,301	1,133	1,105	944	909	
	翌年度繰越額	3,238	3,339	3,304	3,033	2,627	2,132	1,542	1,239	885	680	479	239	123	△ 99	△ 244	△ 386	
企業債残高		11,593	10,996	11,107	10,531	10,112	9,673	9,416	8,813	8,246	7,536	6,921	6,499	6,024	5,681	5,226	4,725	
現金預金残高		3,158	3,210	3,397	3,008	2,814	2,341	1,734	1,218	898	595	423	243	65	△ 89	△ 297	△ 459	

※端数処理のため、合計額が一致しない場合がある。

2022-2026		2027-2031	
料金収入	7,647	料金収入	7,296
特別料金差額繰入額	181	特別料金差額繰入額	181
料金収入 合計	7,828	料金収入 合計	7,477
総括原価 費用	8,627	総括原価 費用	8,015
総括原価 資産維持費(資産維持率 未定)	—	総括原価 資産維持費(資産維持率 未定)	—
総括原価 合計	8,627	総括原価 合計	8,015
料金収入-総括原価	△ 799	料金収入-総括原価	△ 538
料金収入÷総括原価	90.7%	料金収入÷総括原価	93.3%

水道事業会計 収支見通し

1 変更箇所

- (1) 2020年度を決算速報値に置き換え
それに伴い、過去平均等で見込んでいる将来予測値の修正
- (2) 2024年度 旧取水施設撤去工事 1億5,000万円→1億円に修正
(収益的支出 維持管理費)
- (3) 2021年度から総務省繰出基準に加えられた旧簡易水道区域の建設改良
のための起債元利償還金に係る繰入金を収入見込に算入
- (4) 施設整備計画を最新の状態に置き換え
(一部の事業の実施・完成年度に修正あり)
- (5) 補てん財源残高を「豊岡市奨学基金積立金」処分後の金額に修正

水道事業会計 収支見通し

(6) 支払利息を計算するための企業債の借入利率について、2021年4月26日の審議会で提示した収支見通し（2021.4月版）で採用していた数値が高いと考えられるため、修正を行った。

		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
名目長期金利 (ベースラインケース)		1.30%	1.10%	1.00%	0.80%	0.70%	0.40%	0.30%	△0.10%	0.00%	0.00%	△0.10%	0.00%
地方公共団体 金融機構貸付利率	10年償還	0.90%	0.90%	0.60%	0.40%	0.40%	0.20%	0.10%	0.01%	0.01%	0.01%	0.003%	0.04%
	15年償還	1.30%	1.30%	1.00%	0.70%	0.70%	0.50%	0.10%	0.10%	0.10%	0.03%	0.03%	0.20%
	30年償還	2.00%	1.90%	1.70%	1.50%	1.30%	1.20%	0.50%	0.60%	0.50%	0.40%	0.30%	0.50%

		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
		2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
名目長期金利 (ベースラインケース)		0.00%	0.00%	0.00%	0.10%	0.20%	0.60%	1.10%	1.40%	1.50%	1.50%
地方公共団体 金融機構貸付利率	10年償還	0.10%	0.10%	0.10%	0.20%	0.30%	0.70%	1.10%	1.40%	1.50%	1.50%
	15年償還	0.20%	0.20%	0.20%	0.30%	0.50%	1.10%	1.70%	2.10%	2.30%	2.30%
	30年償還	0.50%	0.50%	0.50%	1.00%	1.50%	2.10%	3.30%	4.20%	4.50%	4.50%

→ここからは予測値

		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
2021.4月版で採用していた利率		2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
15年償還		0.40%	0.40%	0.40%	0.40%	1.11%	1.90%	2.37%	2.53%	2.53%	2.53%

※名目長期金利は内閣府「中長期の経済財政に関する試算」（令和3年1月21日経済財政諮問会議提出）より

水道事業会計 収支見通し

2 企業債について

(1) 借入先

- ・ 企業債の借入先は、国、地方公共団体金融機構、市中銀行等があり、近年の豊岡市水道事業は地方公共団体金融機構から借り入れている。

(2) 充当率

- ・ 水道事業（公営企業）… 100%
※充当率 … 建設事業の事業費の財源について、国庫補助金などの特定財源を除いた地方負担額のうち、企業債で充当してよい比率

(3) 借入条件

- | | |
|--------|---------------------------|
| ア 償還期間 | 5～30年（利率見直し方式は5～40年） |
| イ 据置期間 | なし～5年 ※償還期間のうち利息のみを返済する期間 |
| ウ 金 利 | 固定金利方式、利率見直し方式 |
| エ 償還方法 | 元利均等方式、元金均等方式 |
- ※元利均等 … 毎年の元金＋利息が同額となる償還方法
元金均等 … 毎年の元金償還額が同額となる償還方法

水道事業会計 収支見通し

(4) 借入額について

- 事業費から国庫補助金などの特定財源を除いた自己負担額のうち、**約50%を企業債で賄う計画**としている。（経営戦略と同じ）
 ※借入額が多いと支払利息が増加する。借入額が少ないと自己財源での支払額が増加し、内部留保の減少が早くなる。

(5) 借入条件について

ア 償還期間 **15年**（経営戦略と同じ）

- ※償還期間が長いほど利率が上がり、支払利息総額が増える。
 償還期間が短いほど利率は低いが、短期間に高額の償還が必要になる。
 工事により取得する資産は償却年数（当該資産の耐用年数）が40年以上のものもあることから、償還期間と償却期間のバランスを考慮し、当該資産に係る企業債の償還期間を30年とするパターンも検討したが、事業実施を平準化できれば償還年数を何年にしても各年度の負担額は均等となるため、支払利息総額と各年度の償還額を考慮し、15年としている。

償還期間による支払利息の差

(千円)

	2022	2023	2024	2025	2026	5年計	2027	2028	2029	2030	2031	5年計
全て15年 ①	161,425	144,420	129,070	115,665	106,067	656,647	98,244	94,458	89,187	86,064	86,067	454,020
15年、30年混在 ②	161,425	145,083	131,090	120,602	118,150	676,350	113,534	115,484	114,734	117,412	123,606	584,770
差(②-①)	0	663	2,020	4,937	12,083	19,703	15,290	21,026	25,547	31,348	37,539	130,750

水道事業会計 収支見通し

イ 据置期間 **1年**（経営戦略と同じ）

※現在の借り入れ条件と同じ。

据置期間が長いほど支払利息総額が増えるため、据置期間は設定するが、最短の1年としている。

ウ 金 利 **固定金利方式**（経営戦略と同じ）

※現在の借り入れ条件と同じ。

現行の金利は非常に低いため、見直し方式にすると見直し時に金利が上昇する可能性が高いと考えており、固定金利方式としている。

エ 償還方法 **元金均等方式**（経営戦略と同じ）

※現在の借り入れ条件と同じ。

元利均等方式は毎年の償還額が一定となり分かりやすいが、元金均等方式に比べ支払利息総額が増加するため、元金均等方式にしている。

水道事業会計 収支見通し

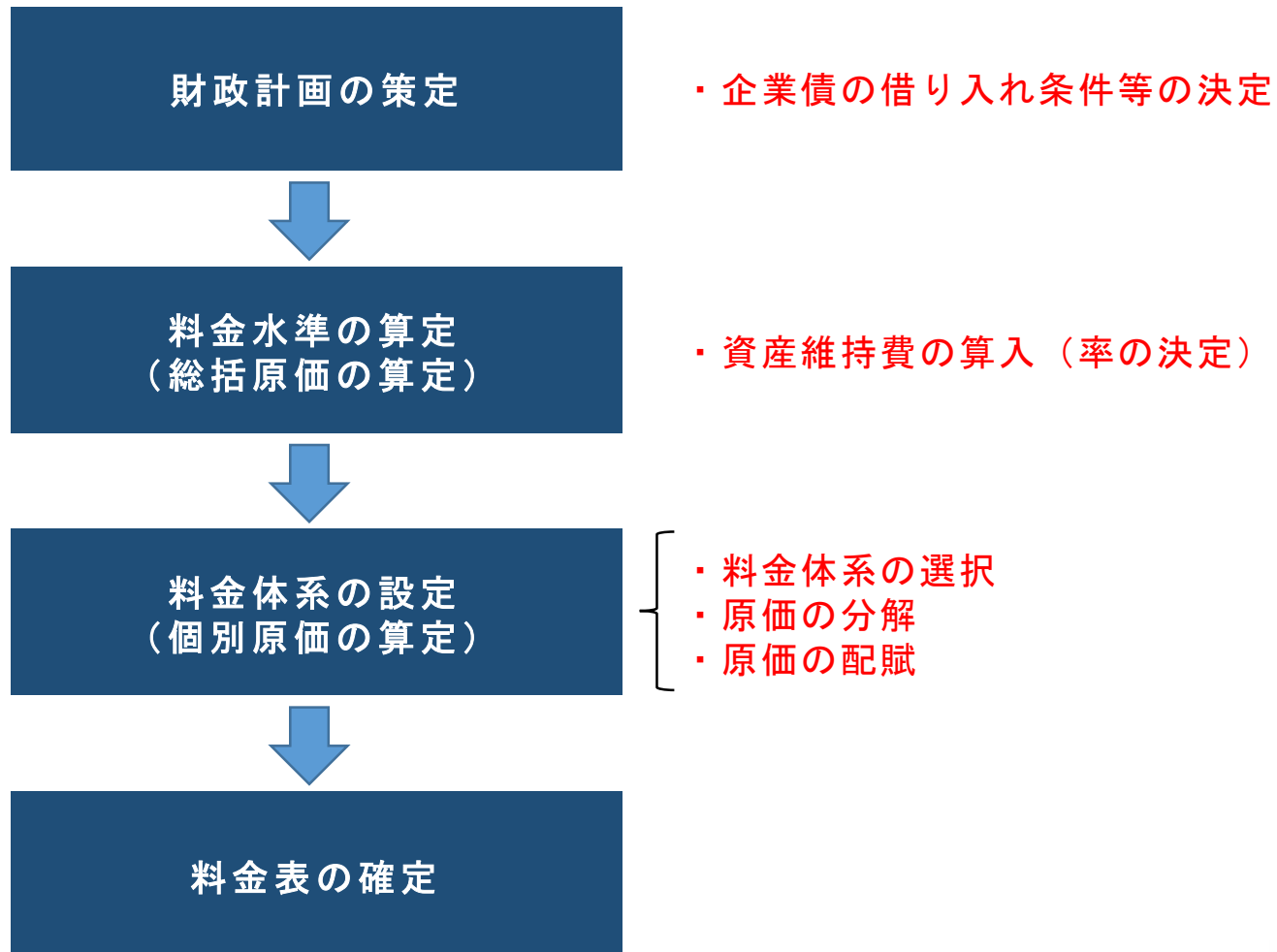
3 分析

- (1) 2021年度以降、収益的収支はわずかに改善したが、2032年度から慢性的な赤字になる状況は変わらず。
資本的収支もやや改善し、補てん財源・現金預金がマイナスになるのは2031年度→2032年度となる見込みとなった。
- (2) 今回料金算定期間（2022～2026年度）は、**資産維持費を含めない状態で、総括原価に対して料金収入が約8億円不足する見込み。**



3 審議の流れ

審議の流れ



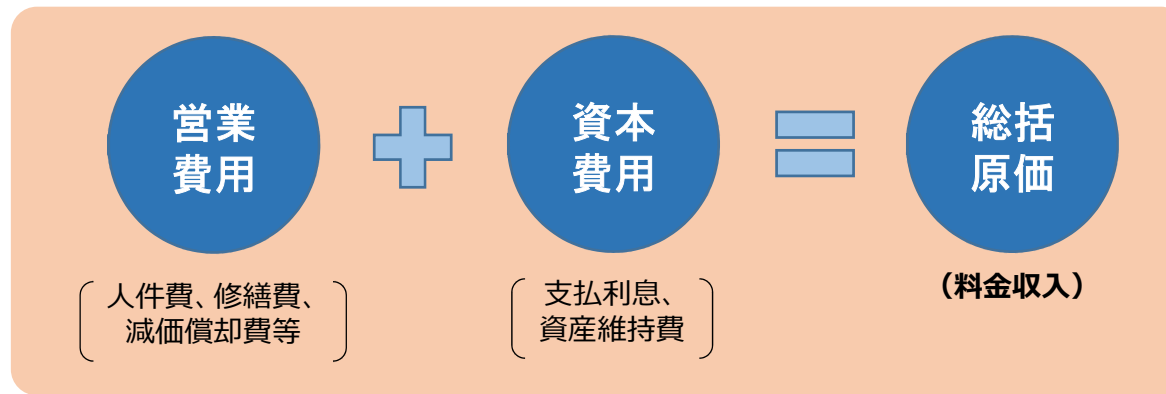


4 総括原価の算定

水道料金の算定方式（総括原価方式①）（再掲）

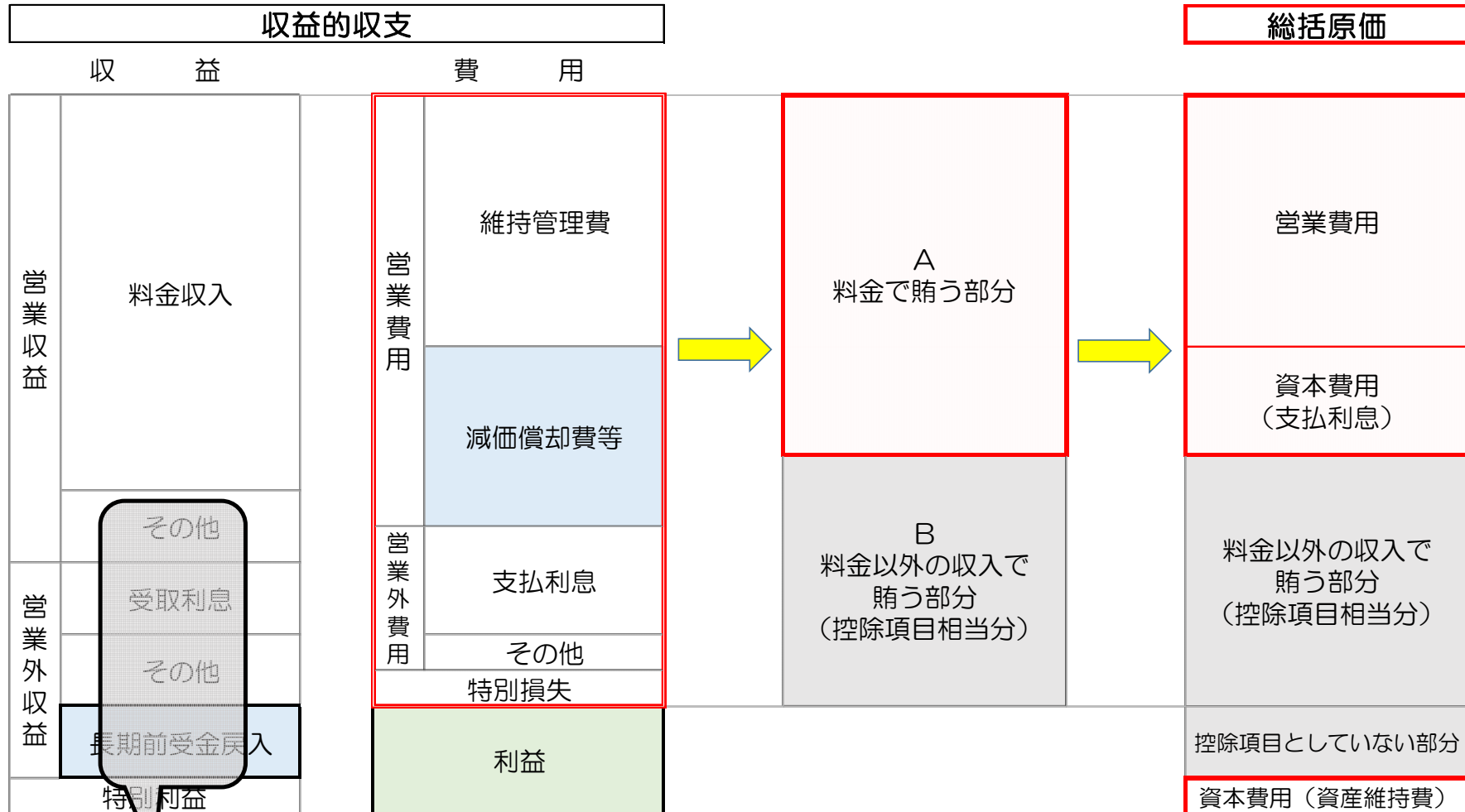
■ 総括原価方式（損益収支方式）

能率的な経営の下における「適正な原価」（経営に要する費用）に、「健全な運営を確保」するために必要となる費用（資産維持費）を加えた総括原価を算定し、総括原価と料金収入の総額が一致するように料金を設定する方式



出典：公益社団法人日本水道協会「水道料金改定業務の手引き」

料金等の算定方式（総括原価方式②）（再掲）



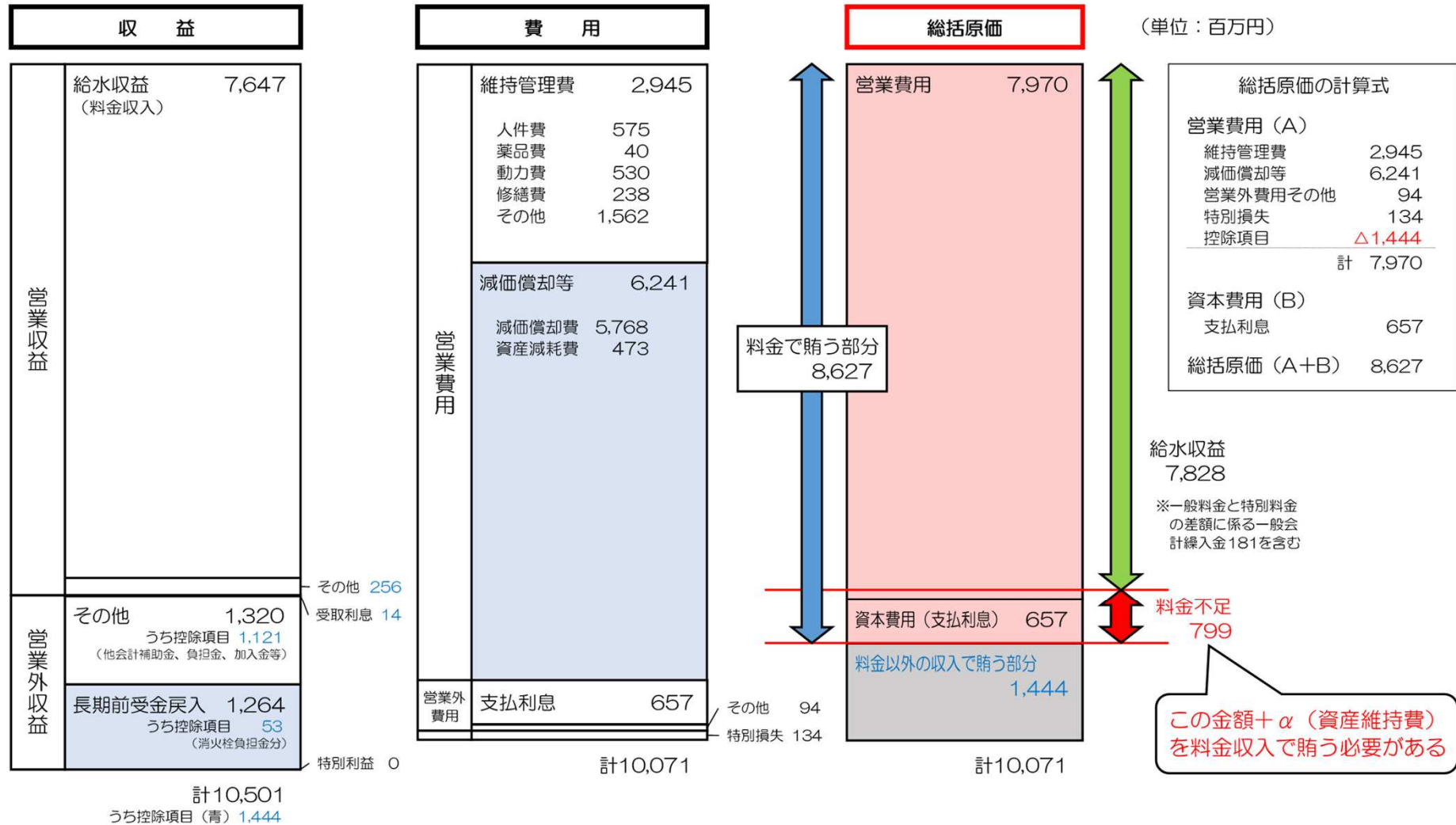
控除項目

費用を次の2つに分解

A 料金で賄う部分

B 料金以外の収入で収入で賄う部分（控除項目から算出）

2022～2026年度の収支見通しから 資産維持費を含めず計算した総括原価



資産維持費の算定方法

資産維持費は、給水サービス水準の維持向上及び施設実体の維持のために、事業内に再投資されるべき額であり、実体資本の維持及び使用者負担の期間的公平等を確保する観点から、総括原価に含める額は次により計算された範囲内とし、その内容は施設の建設、改良、再構築及び**企業債の償還**等に必要な所要額とする。

○資産維持費＝対象資産×**資産維持率**×5年（料金算定期間年数）

【対象資産】

償却資産額の料金算定期間の期首及び期末の平均残高

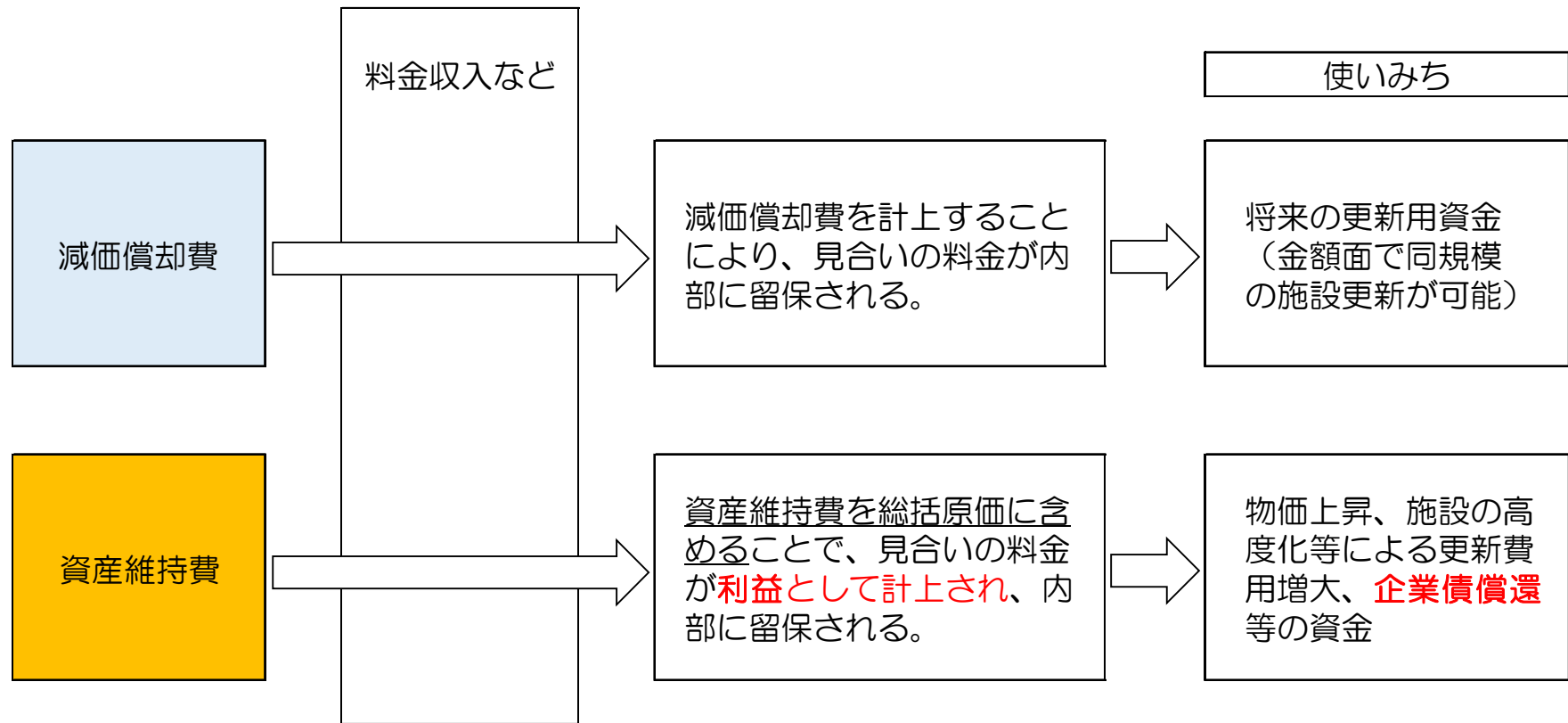
$$\begin{array}{rcccl} \text{(2022年度期首)} & & \text{(2026年度期末)} & & \\ 221\text{億}1800\text{万円} & + & 220\text{億}9400\text{万円} & & \\ \hline & & & = & 221\text{億}600\text{万円} \\ & & 2 & & \end{array}$$

【資産維持率】

2011（H23）年度改定時は年0.25%

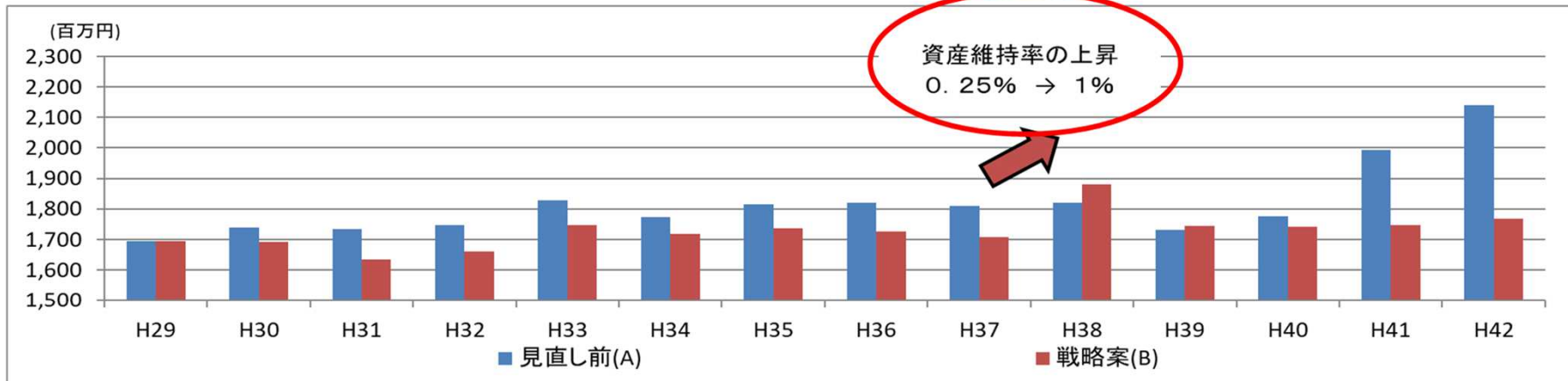
※公益社団法人日本水道協会による標準は年3%

補てん財源（減価償却費と資産維持費）



経営戦略（2018.5策定）における総括原価の想定

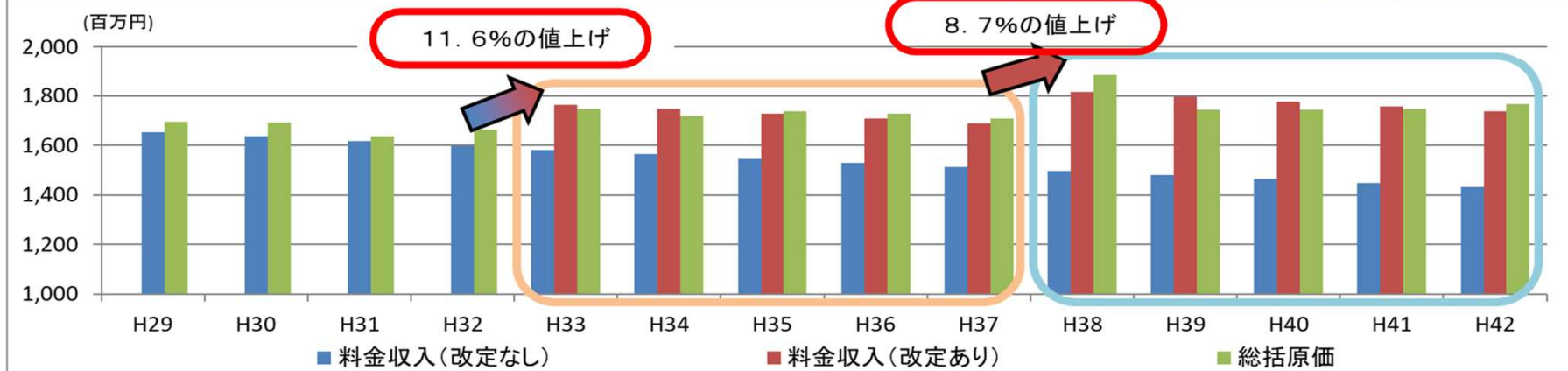
■経営戦略からの抜粋



料金収入と総括原価

(百万円)

	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42
料金収入(改定なし)	1,654	1,636	1,617	1,598	1,581	1,564	1,547	1,530	1,514	1,497	1,481	1,464	1,448	1,431
料金収入(改定あり)					1,764	1,746	1,727	1,708	1,689	1,816	1,796	1,776	1,756	1,736
総括原価	1,695	1,692	1,635	1,661	1,747	1,718	1,738	1,727	1,708	1,882	1,744	1,743	1,747	1,767



経営戦略と最新の見込みとの総括原価の比較

料金収入と総括原価	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	(百万円)	
	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42
料金収入(改定なし)	1,654	1,636	1,617	1,598	1,581	1,564	1,547	1,530	1,514	1,497	1,481	1,464	1,448	1,431
料金収入(改定あり)					1,764	1,746	1,727	1,708	1,689	1,816	1,796	1,776	1,756	1,736
総括原価	1,695	1,692	1,635	1,661	1,747	1,718	1,738	1,727	1,708	1,882	1,744	1,743	1,747	1,767

経営戦略の総括原価 合計 8,773

最新の見込みの総括原価 合計 8,903
(比較 +130)

(増加の主な原因)

- ・ 旧取水施設撤去の追加 +120
- ・ 繰入金の減 +369
- ・ 減価償却費の減 △153
- ・ 資産維持費の減 △170

※経営戦略 … 2022～2025 : 資産維持率0.25%、2026～2030 : 1.0%で計算

最新の見込み … 2022～2026 : 資産維持率0.25%で計算

資産維持率の設定（想定パターン）

パターン	資産維持率	
	2022～2026年度	2027～2031年度
①	年0.25% (5年換算1.25%)	年1.00% (5年換算5.00%)
②	年0.50% (5年換算2.50%)	
③	年0.75% (5年換算3.75%)	
④	年1.00% (5年換算5.00%)	
⑤	年3.00% (5年換算15.00%)	

（参考）経営戦略における資産維持率

パターン	2021～2025年度	2026～2030年度
—	年0.25% (5年換算1.25%)	年1.00% (5年換算5.00%)

資産維持率ごとの想定平均改定率

(千円)

費 用		金 額				
		パターン①	パターン②	パターン③	パターン④	パターン⑤
		資産維持率 年0.25% (5年換算1.25%)	資産維持率 年0.50% (5年換算2.50%)	資産維持率 年0.75% (5年換算3.75%)	資産維持率 年1.00% (5年換算5.00%)	資産維持率 年3.00% (5年換算15.00%)
営業費用	維持管理費	3,173,937				
	減価償却費	5,768,060				
	資産減耗費	472,678				
	合 計	9,414,675				
資本費用	支払利息	656,647				
	資産維持費	276,325	552,650	828,975	1,105,300	3,315,900
	合 計	932,972	1,209,297	1,485,622	1,761,947	3,972,547
控除項目		△ 1,444,563				
総括原価 (A)		8,903,084	9,179,409	9,455,734	9,732,059	11,942,659
現行料金収入額 ㊦		7,646,863				
特別料金差額 (注) ㊧		181,030				
現行料金収入総額(B) (㊦+㊧)		7,827,893				
想定改定率 (A) / (B)		13.7%	17.3%	20.8%	24.3%	52.6%

(注) 政策的に低い料金設定としている豊岡中核工業団地、城崎町湯島財産区営浴場などの料金を、一般用の料金で計算した場合の差額。この差額は一般会計から繰出しを受けている。

資産維持率ごとの各項目の変動見込み

(千円)

パターン	資産維持率 (5年換算)	改定率	区分	2022	2023	2024	2025	2026	計	次期算定期間の資産維持率を 1.0% とした場合の改定率
①	年0.25% (1.25%)	13.7%	利益	351,352	309,269	195,046	305,760	335,550	1,496,977	6.7%
			料金改定による増収 (うち資産維持費)	209,262	217,293	215,364	213,433	211,520	1,066,872	
			補てん財源残高	55,265	55,265	55,265	55,265	55,265	276,325	
補てん財源残高				3,240,825	3,051,406	2,771,455	2,393,763	2,301,511		
②	年0.50% (2.50%)	17.3%	利益	406,347	366,376	251,647	361,853	391,141	1,777,364	3.5%
			料金改定による増収 (うち資産維持費)	264,257	274,400	271,965	269,526	267,111	1,347,259	
			補てん財源残高	110,530	110,530	110,530	110,530	110,530	552,650	
補てん財源残高				3,295,520	3,162,908	2,939,258	2,617,459	2,580,498		
③	年0.75% (3.75%)	20.8%	利益	459,814	421,894	306,672	416,385	445,184	2,049,949	0.5%
			料金改定による増収 (うち資産維持費)	317,724	329,918	326,990	324,058	321,154	1,619,844	
			補てん財源残高	165,795	165,795	165,795	165,795	165,795	828,975	
補てん財源残高				3,348,787	3,271,493	3,102,568	2,835,001	2,851,883		
④	年1.00% (5.00%)	24.3%	利益	513,281	477,413	361,698	470,919	499,228	2,322,539	改定不要
			料金改定による増収 (うち資産維持費)	371,191	385,437	382,016	378,592	375,198	1,892,434	
			補てん財源残高	221,060	221,060	221,060	221,060	221,060	1,105,300	
補てん財源残高				3,401,954	3,379,879	3,265,780	3,052,447	3,123,073		
⑤	年3.00% (15.00%)	52.6%	利益	945,598	926,321	806,623	911,855	936,213	4,526,610	改定不要
			料金改定による増収 (うち資産維持費)	803,508	834,345	826,941	819,528	812,183	4,096,505	
			補てん財源残高	663,180	663,180	663,180	663,180	663,180	3,315,900	
補てん財源残高				3,832,071	4,256,604	4,585,130	4,810,533	5,315,944		

(参考)

全ての単価を1.137倍（想定パターン①に用いた13.7%相当の金額を加算）した金額

基本料金（1月につき）			
メーターの口径	現行単価	1.137倍	差 額
13mm	704円	800.4円	96円
20mm	1,408円	1,600.9円	193円
25mm	2,860円	3,251.8円	392円
40mm	10,010円	11,381.4円	1,371円
50mm	15,620円	17,759.9円	2,140円
75mm	40,700円	46,275.9円	5,576円
100mm	77,000円	87,549.0円	10,549円

従量料金（1 m ³ につき）（用途：一般）			
区分	現行単価	1.137倍	差 額
10m ³ までの分	66円	75.0円	9.0円
10m ³ を超え20m ³ までの分	132円	150.1円	18.1円
20m ³ を超え30m ³ までの分	137.5円	156.3円	18.8円
30m ³ を超え50m ³ までの分	154円	175.1円	21.1円
50m ³ を超え100m ³ までの分	214.5円	243.9円	29.4円
100m ³ を超える分	220円	250.1円	30.1円

口径13mmで1か月あたり使用水量別の比較

使用水量	現行料金	1.137倍	差 額
10m ³	1,364円	1,550.9円	186.9円
20m ³	2,684円	3,051.7円	367.7円
30m ³	4,059円	4,615.1円	556.1円

(注) この表は参考資料であり、このとおり料金を改定するものではありません。

資産維持率ごとの補てん財源への影響見込み

単年度損益（A）

（単位：千円）

パターン	条件	2022	2023	2024	2025	2026	5年計
①	資産維持率 年0.25%	351,352	309,269	195,046	305,760	335,550	1,496,977
②	資産維持率 年0.50%	406,347	366,376	251,647	361,853	391,141	1,777,364
③	資産維持率 年0.75%	459,814	421,894	306,672	416,385	445,184	2,049,949
④	資産維持率 年1.00%	513,281	477,413	361,698	470,919	499,228	2,322,539
⑤	資産維持率 年3.00%	945,598	926,321	806,623	911,855	936,213	4,526,610

共通	長期前受金戻入（B）	259,202	257,442	255,078	248,284	244,024	1,264,030
共通	企業債償還金（C）	976,140	1,028,929	1,029,159	1,028,429	1,029,903	5,092,560

（A）－（B）－（C）

パターン	条件	2022	2023	2024	2025	2026	5年計
①	資産維持率 年0.25%	△ 883,990	△ 977,102	△ 1,089,191	△ 970,953	△ 938,377	△ 4,859,613
②	資産維持率 年0.50%	△ 828,995	△ 919,995	△ 1,032,590	△ 914,860	△ 882,786	△ 4,579,226
③	資産維持率 年0.75%	△ 775,528	△ 864,477	△ 977,565	△ 860,328	△ 828,743	△ 4,306,641
④	資産維持率 年1.00%	△ 722,061	△ 808,958	△ 922,539	△ 805,794	△ 774,699	△ 4,034,051
⑤	資産維持率 年3.00%	△ 289,744	△ 360,050	△ 477,614	△ 364,858	△ 337,714	△ 1,829,980

総括原価方式で料金を算定した場合、発生する利益は計算上、控除項目としていない収入（長期前受金戻入）と資産維持費相当額の合計となる。このため、利益から長期前受金戻入を差し引くと資産維持費相当額となり、その部分で企業債の償還をする必要があるが、企業債償還金の額が大きいため、どのパターンでも差引がマイナスとなる。

これは、資産維持費相当額だけでは企業債償還金を賄えておらず、将来の更新用資金として内部に留保すべき減価償却費相当額で企業債を償還しており、将来の更新用資金の必要額を留保できていない状態であることを表している。

損益勘定留保資金
(減価償却費見合い)
で企業債を償還。
更新用資金が不足。



水道事業会計 収支見通し (2021年5月版)

パターン① (資産維持率: 2022~2026年度 0.25%、2027~2031年度 1.00%) で改定した場合

		H31 R01	H32 R02	H33 R03	H34 R04	H35 R05	H36 R06	H37 R07	H38 R08	H39 R09	H40 R10	H41 R11	H42 R12	H43 R13	H44 R14	H45 R15	H46 R16		
		決算	決算速報値																
収益的収支(百万円、税抜)		2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034		
収益的 収支	項目/年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034		
	収入(収益)	2,275	2,170	2,190	2,358	2,346	2,321	2,285	2,260	2,338	2,311	2,280	2,227	2,182	2,126	2,085	2,054		
	料金収入	1,606	1,543	1,572	1,767	1,751	1,735	1,719	1,703	1,798	1,781	1,764	1,747	1,729	1,712	1,694	1,676		
	一般会計繰入金等	273	255	255	243	250	244	230	225	216	211	201	170	151	119	106	100		
	長期前受金	294	280	265	259	257	255	248	244	238	234	230	224	216	210	200	193		
	その他	102	93	99	88	88	88	88	88	85	85	85	85	85	85	85	85		
	支出(費用)	2,014	1,967	1,988	2,006	2,037	2,126	1,979	1,924	1,855	1,853	1,829	1,826	1,813	1,856	1,805	1,816		
	維持管理費	614	606	674	712	754	844	702	635	664	634	624	635	621	677	622	644		
	うち非現金支出分	20	8	49	22	147	126	64	18	58	18	19	21	17	63	19	31		
	減価償却費	1,187	1,166	1,136	1,133	1,138	1,153	1,161	1,183	1,093	1,125	1,117	1,104	1,106	1,096	1,100	1,091		
支払利息	212	195	177	161	144	129	116	106	98	94	89	86	86	84	84	81			
単年度損益	261	204	203	351	309	195	306	336	482	458	450	401	368	269	280	238			
累積損益(利益処分後)	1,432	1,376	1,578	1,928	2,236	2,430	2,394	2,302	2,266	2,383	2,501	2,576	2,772	2,861	3,023	3,184			
									2022-2026 損益計		1,497		2027-2031 損益計					2,159	
資本的収支(百万円、税込)		2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034		
資本的 収支	収入	378	393	1,180	570	951	1,004	863	507	559	383	437	537	434	550	441	409		
	企業債	283	296	1,047	401	610	590	771	427	475	297	348	448	339	446	331	293		
	一般会計繰入金等	90	92	112	119	208	243	78	80	84	86	89	89	95	104	110	116		
	国県補助金	5	5	20	49	133	171	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	支出	1,387	1,423	2,463	1,956	2,599	2,624	2,660	1,966	2,071	1,680	1,732	1,838	1,567	1,753	1,530	1,460		
	建設改良費	561	530	1,526	979	1,570	1,595	1,632	936	1,029	673	769	968	753	964	744	666		
企業債償還金	826	893	937	976	1,029	1,029	1,028	1,030	1,042	1,008	963	869	814	789	786	795			
収支過不足額	△ 1,009	△ 1,030	△ 1,283	△ 1,386	△ 1,648	△ 1,620	△ 1,797	△ 1,459	△ 1,512	△ 1,298	△ 1,295	△ 1,301	△ 1,133	△ 1,203	△ 1,089	△ 1,051			
補てん 財源	使用額	1,009	1,030	1,283	1,386	1,648	1,620	1,797	1,459	1,512	1,298	1,295	1,301	1,133	1,203	1,089	1,051		
	翌年度繰越額	3,238	3,339	3,304	3,241	3,051	2,771	2,394	2,302	2,266	2,383	2,501	2,576	2,772	2,861	3,023	3,184		
企業債残高		11,593	10,996	11,107	10,531	10,112	9,673	9,416	8,813	8,246	7,536	6,921	6,499	6,024	5,681	5,226	4,725		
現金預金残高		3,158	3,210	3,397	3,172	3,195	2,936	2,542	2,237	2,213	2,232	2,380	2,516	2,652	2,808	2,907	3,050		

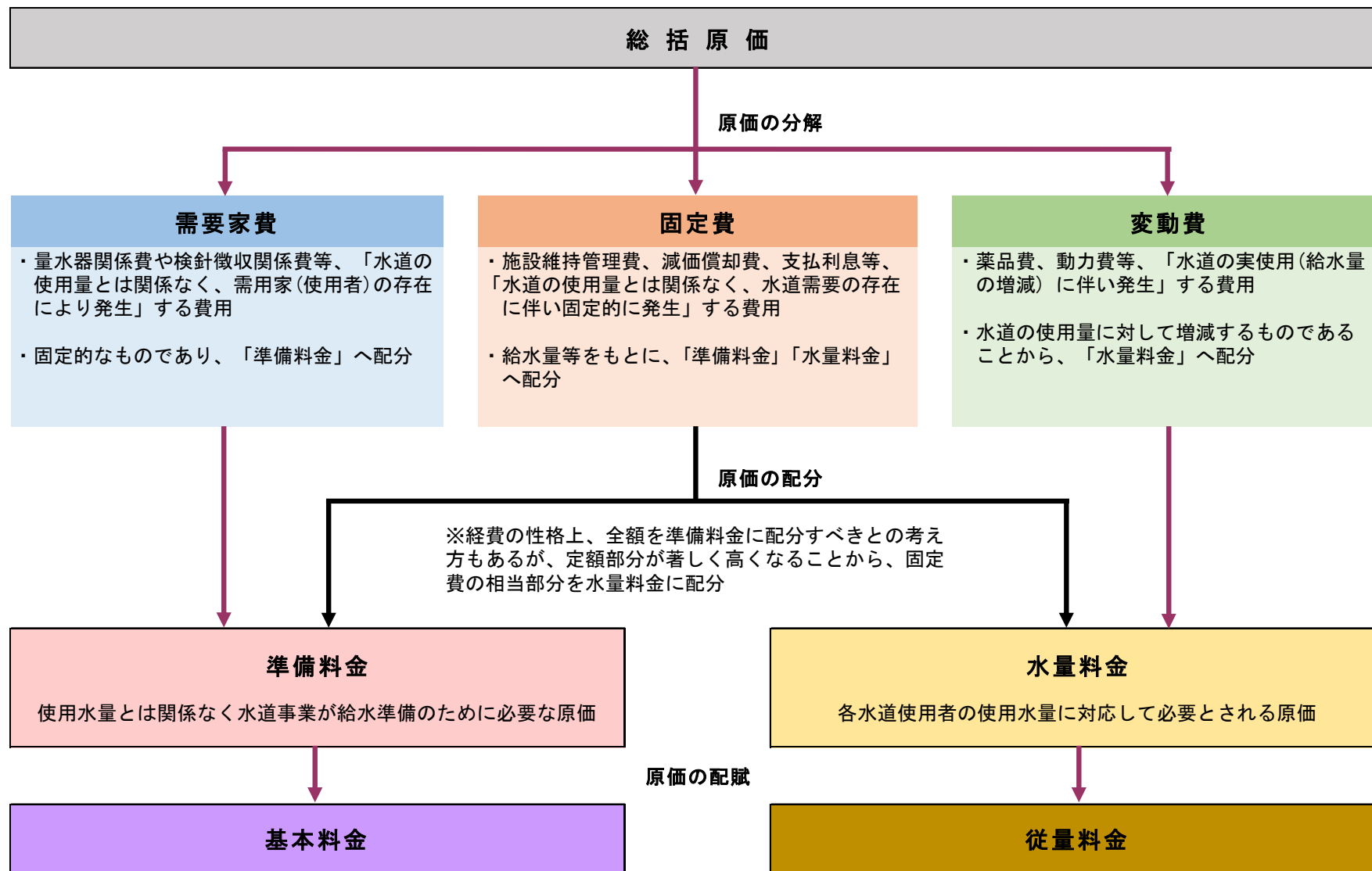
※端数処理のため、合計額が一致しない場合がある。

2022-2026		2027-2031	
料金収入	8,674	料金収入	8,820
特別料金差額繰入額	226	特別料金差額繰入額	251
料金収入 合計	8,900	料金収入 合計	9,071
総括原価 費用	8,627	総括原価 費用	8,015
総括原価 資産維持費 (資産維持率 0.25%)	276	総括原価 資産維持費 (資産維持率 1.00%)	1,058
総括原価 合計	8,903	総括原価 合計	9,073
料金収入 - 総括原価	△ 3	料金収入 - 総括原価	△ 2
料金収入 ÷ 総括原価	100.0%	料金収入 ÷ 総括原価	100.0%



5 次回の審議内容

総括原価決定後の流れ



原価の配分・配賦

■ 原価の配分について

- 2011（H23）年度の料金改定では、準備料金（基本料金）24%、水量料金（従量料金）76%で配分している。今回はどのように配分するかを検討する必要がある。

（過去3年間の実績）

	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）
基本料金	25.1%	25.5%	26.5%
従量料金	74.9%	74.5%	73.5%

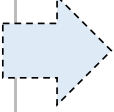

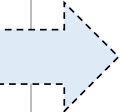
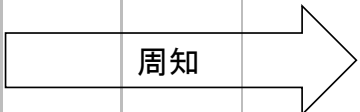
■ 原価の配賦について

- 配分したそれぞれの料金を、どのような料金体系で使用者の方に負担をお願いするかを検討する必要がある。

2011（H23）年度料金改定時 逡増度 3.3倍

※逡増度 … 従量料金の最低料金と最高料金の差

6 今後の予定

時期 内容	2021（令和3）年度												2022 （令和4） 年度	
	4月 26日	5月	6月 7日 25日	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～	
公営企業 審議会	第2回 （諮問）		第3回	第4回	第5回	第6回 + α <small>最終回に答申</small>								新料金適用
市議会							説明 			料金改定案議決				
市民							説明会 				 周知			

今後の審議会の進め方について（お願い）

今後、委員の皆様のご意見、ご質問を随時受け付け、事務局からも適宜、情報共有や資料提供等を行えるよう、可能な内容であればメールでのやり取りを行うことを考えています。

つきましては、皆様のメールアドレスを提供いただきたく存じます。
お手数ですが、下記水道課代表メールアドレスに

・ 件名「公営企業審議会連絡用」 ・ 本文「お名前（確認用）」

を記入したメールを送信してください。

[水道課代表アドレス：suidou@city.toyooka.lg.jp](mailto:suidou@city.toyooka.lg.jp)

※提供いただいたアドレスは、本審議会に関する連絡等にのみ使用し、他の目的には使用いたしません。

※資料をお送りする場合、PDFファイル形式を考えています。PDFファイルが受信可能なアドレスをご提供ください。受信可能なアドレスがない場合は、お申し出ください。